

墜落防止 手すりユニット ご使用の手引き



ご使用になる皆様へ

製品を正しく安全にお使いいただくためにこのご使用の手引きをよくお読みください。

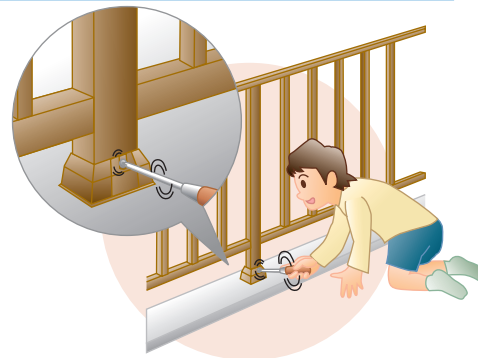
また、いつでも使用できるように大切に保管して下さい。



JAHA 日本アルミ手摺工業会

安全にご使用いただくためのお願い

- 1 ボルト、ナット、ネジをゆるめないで下さい。
手すりの強度低下で倒れるおそれがあります。



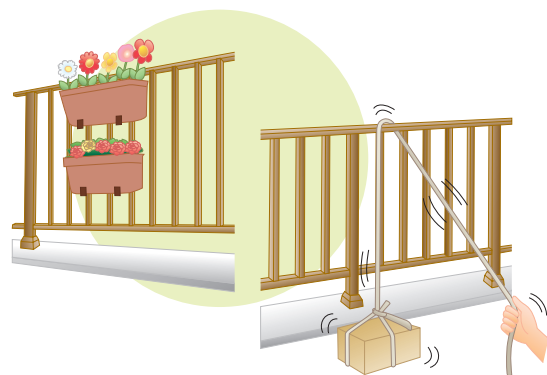
- 2 ネジがゆるむ原因になりますので、
むやみに手すりをゆらさないで下さい。



- 3 手すりの強度低下や思わぬ事故の原因になりますので、
孔を開けたりパネル等の建材を取り付けしないで下さい。



- 4 安全上、手すりにふとんやプランターなどの
重いものを掛けしないで下さい。
また手すりにロープを掛けて荷物の上げ下げ
をしないで下さい。
製品に破損のおそれが生じます。



- 5** 手すりの近くにエアコンの室外機やダンボール箱などの踏み台になるようなものを置かないで下さい。
墜落事故の原因になります。
また、隔て板の前にエアコン室外機を設置すると避難の妨げになります。



- 6** ガラスがはめ込まれている場合、割れる危険性があるので足で蹴ったり、物をぶつかけたりしないで下さい。



快適にご使用いただくためのお願い

製品は十分な表面処理を施しておりますが、
汚れやホコリを長期間放置しておくとう腐食しやすくなります。
定期的に清掃することをお勧めします。
特に海岸地帯や交通量の多い道路沿いは、
塩分や排気ガスによる汚損が進みやすいので、
こまめにお手入れして下さい。

【手すりのお手入れ方法】

- 汚れは（水でぬらした）布ややわらかいスポンジなどで拭き取って下さい。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- 洗剤の使用後は、洗剤分が残らないよう十分に水拭きを行って下さい。
- シンナーや金属製ブラシは表面を傷めるのでご使用しないで下さい。



【保守点検について】

ご使用中にいろいろな不具合が発生することがあります。そのままにしておきますと、手すりユニットが破損し、人身事故等の原因になるおそれがあります。

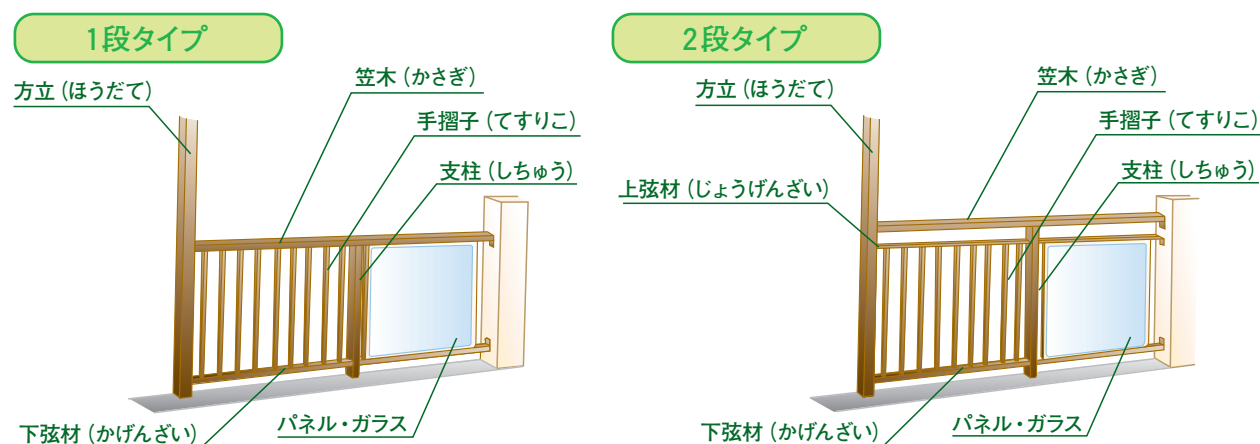
次のような不具合がないかどうか、お手入れの時等を利用して点検して下さい。

- 1 手摺子が折れ曲がり、隙間が広がっている。
- 2 手摺子をとめているネジがゆるんでいる。
- 3 手摺子はずれている。
- 4 手すりユニットを手でゆするとグラグラする。
- 5 手すりユニットの各部及び部品が腐食している。
- 6 パネルに大きなキズ、ひび割れがある。
- 7 ガラスにひび割れがある。
- 8 パネルやガラスを止めている押え材はずれている。
- 9 笠木、上弦材または下弦材が変形している。

上記のような不具合または不明な点がありましたら、ご自分で分解や修理をせずに、必ず建築物の管理責任者へご連絡ください。

共用部分を管理される場合、共用部分に使用されている手すりユニットは、お客様用取扱説明書の記載内容に基づき、管理責任者が点検及びお手入れをして下さい。

各部の名称



(おことわり)

この資料は、手すりユニットを安全にご使用いただくための手引きとして、当工業会がまとめたものです。実際の製品をご使用される場合の手引きは、会員会社にご確認下さい。

(ご案内)

会員外の方が本手引きを業務目的で無断使用される事はお断り致します。